

医学系研究実施のお知らせ

医学系研究「呼気検知管方式による口臭判定の有用性の検討」に関する 研究実施のお知らせについて

当院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特性を研究し、診断法、治療法の改善などを目指す医学系研究を行なっています。そのような医学系研究の一つとして、この研究も行われております。

このお知らせ文は、この研究の実施について皆様に知っていただき、研究内容を正しく理解していただくと同時に、対象者となられる方が研究不参加を望まれる場合にはその意思表示をしていただくためのものです。

なお、この研究は福岡学園倫理審査委員会の承認と、研究機関の長（福岡学園理事長 水田祥代）からの許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2027 年 3 月 31 日までです。

1. 研究の対象となる方の条件

2019 年 10 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までに、当院口臭クリニック科を受診された患者さんで口臭検査を受けた方が対象です。

目標症例数は 50 例です。

この研究において、ご自身の診療情報や試料等が利用されることを望まれない場合は、お手数ではありますが、下記相談窓口の担当者連絡先まで、ご一報ください。

2. 研究の目的や意義について

近年、我が国では加熱式タバコが急速に流行しており、加熱式タバコの健康影響にまつわる研究の推進が求められています。私たちは、加熱式タバコが口臭および肺機能に与える影響の研究や、加熱式タバコ使用者に対する動機付け支援に役立つ新教材の開発に取り組んでいます。今回、加熱式タバコの煙にいくつかの有害物質が含まれることに注目し、新しい視覚的教材として、呼気検知管方式を用いた有害物質判定法の開発を考えています。そこで、これまでに口臭クリニック科で既存検知管を用いて口臭判定を行った症例について、嗅覚による検査（官能検査）や精密機器による原因物質の検出（ガスクロマトグラフィー分析、センサー方式）の結果と比較することで、呼気検知管方式を利用した口臭判定の有用性を評価することにしました。この研究の成果によって、口臭検査法の拡充に加えてタバコ依存喫煙者や加熱式タバコ喫煙者に対する効果的な動機付け支援に役立つ視覚的教材の開発が期待できます。

3. 研究の方法について

この研究を行う際は、対象となる方の診療録より以下の情報を取得します。また、取得した情報の関係性を分析し、呼気検知管を用いた簡易口臭検査法による口臭判定の有用性を検討します。

〔取得する情報〕

口臭の官能検査値（嗅覚を用いた口臭判定）、機器分析による3種の揮発性硫黄化合物（硫化水素、メチルメルカプタン、硫化ジメチル）の濃度、呼気検知管を用いた簡易口臭検査法による口臭判定。

4. 試料や情報の管理について

この研究において研究対象者から得られた情報は、研究終了後、福岡歯科大学口腔保健学講座口腔健康科学分野において同分野教授の谷口 奈央の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

5. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧ください。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

6. 研究の実施体制について

研究実施場所 (分野名等)	学校法人 福岡学園 福岡歯科大学医科歯科総合病院 総合歯科・口臭クリニック科
研究責任者	福岡歯科大学口腔保健学講座 口腔健康科学分野 教授 谷口 奈央

7. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	福岡歯科大学 口腔保健学講座 口腔健康科学分野 教授 谷口 奈央 連絡先：〔TEL/FAX〕092-801-0616 メールアドレス：naojsz@fdcn.ac.jp
---------------	---

（作成日：2020年12月25日 最終修正日：2025年12月16日）